

第2回 全国ユース環境活動発表大会

日程 2017年2月4日(土)・5日(日)

会場 国連大学ウ・タント国際会議場

主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会

環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所

協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)／地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

全国大学生環境活動コンテスト実行委員会／WWF(世界自然保護基金)ジャパン／
一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

協賛 キリン株式会社／協栄産業株式会社／

SGホールディングス株式会社／三井住友海上火災保険株式会社



環境大臣賞

副賞：海外での環境活動体験

長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部

農業廃棄物の有効利用法 かぼちゃのゼロ・エミッションへの挑戦

長崎県のかぼちゃの生産量は8,160トンで全国第4位を誇る。しかしその裏側では、形や色が悪く規格外品として処分されるかぼちゃは約20%にのぼる。そこで規格外かぼちゃを活用し、新しい加工品として中華菓子「月餅」を開発。また栽培と共に発生する「蔓」や「葉」は焼却処分しており、その際に生じるCO₂は地球環境に悪影響も与えている。この農業廃棄物を有効利用し、特産の「和紙」を製造。地元産業にも貢献している。



環境再生保全機構 理事長賞

副賞：国内での環境活動体験

慶應義塾湘南藤沢高等部

有志団体 環境プロジェクト

未来の環境は私たちの手に

有志団体「環境プロジェクト」。メンバーは部活動・委員会と両立して活動し、その数は70名にのぼる。「身の回りの全ての、ものごと・人のつながり」を環境と捉え、「環境に興味を持ち、自身の見聞を深める」「自らが行動し、啓発の中心となる」理念を共有し、自身の興味分野で環境と関わっていくことを目指す。6グループに分かれ、「小学校授業」では準備に数か月をかけ発案から実践まで全て高校生の手作りで活動している。



国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

副賞：石川県での環境プログラムの体験

兵庫県立御影高等学校

環境科学部生物班

六甲山のキノコにはどんな多様性があるのか ～地域連携から伝える生物多様性～

学校行事の六甲登山でエノキタケを見つけたことがきっかけで、「六甲山にはどんなキノコが生えているのだろうか?」と調査を開始。キノコの多様性を調査し魅力を発信し、六甲山のキノコの多様性を多くの人に伝える活動を実践。今までに約500種類1000点以上を標準化してリアルに伝えているため、公的機関や民間企業からの企画展、鑑定相談、啓発活動などの依頼も多く、地域の活性化、環境への意識の変化にも貢献している。



高校生が選ぶ特別賞

群馬県立利根実業高等学校

生物資源部

赤城山北西麓におけるイノシシの生態・行動調査と侵入防護柵の製作

廃材利用による低コストで移動と設置が容易な、イノシシ用の仮設型侵入防護柵を製作。被害のあった水田で検証実験を行い、その結果イノシシの侵入被害を防ぎ、農業収益の確保が確認された。また各種発表会や出前講座、公共の場での情報発信もおこなっている。



先生が選ぶ特別賞

北海道帯広農業高等学校

十勝川多自然川づくり班

十勝川中流部における湿地再生と生物多様性の回復

河川整備事業により生物多様性の危機に瀕している十勝川中流部中心に、行政と市民との「協働」による湿地再生から、生物多様性の回復を目指した活動を展開。その結果として希少種の生息や生物数の増加が確認され、野生生物保護において大きく貢献している。

